

# 大学や社会で求められるコミュニケーション力を 高めていくアクティブ・ラーニング

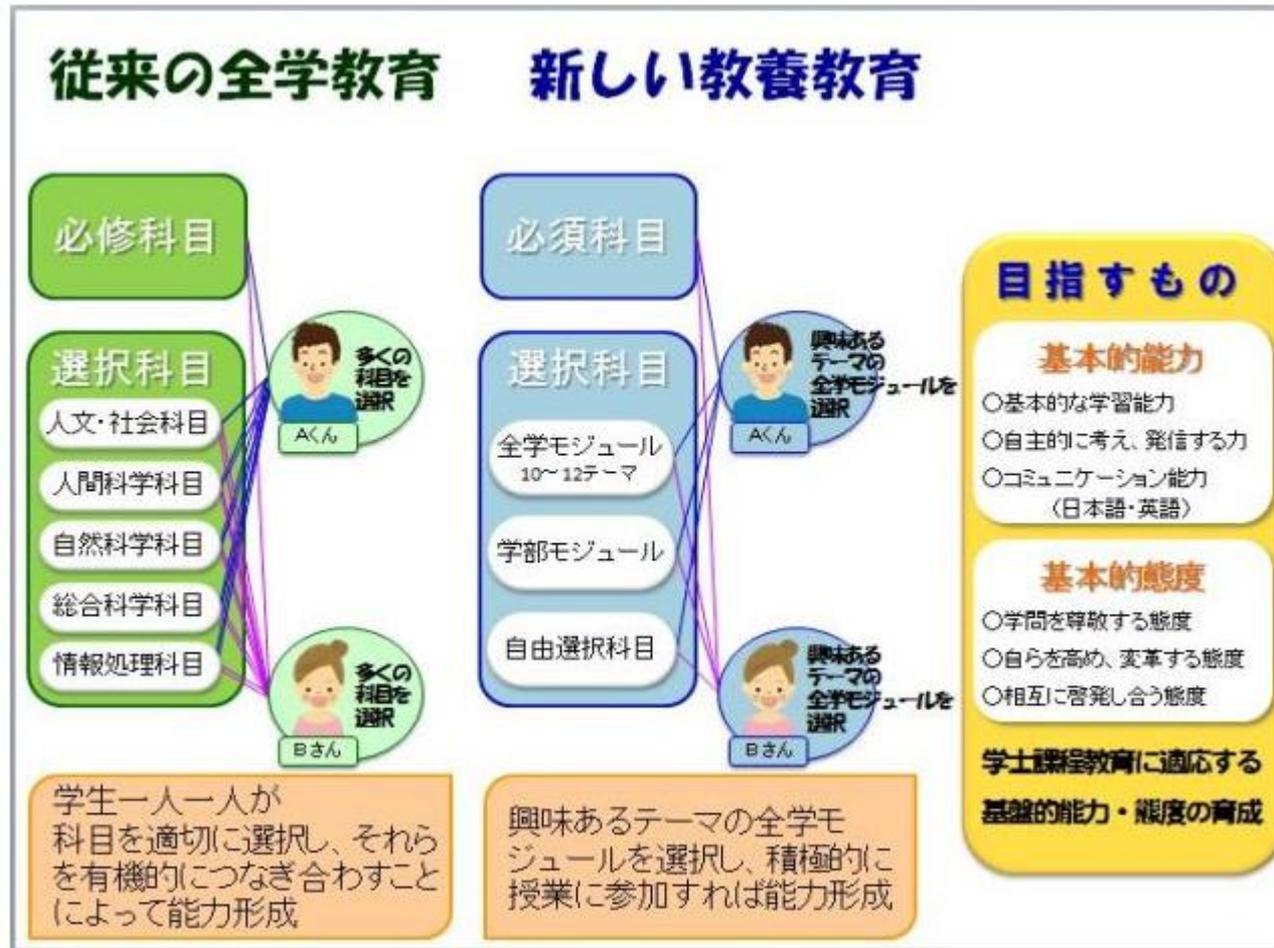
長崎大学 大学教育イノベーションセンター  
當山明華

# 授業の紹介

- 授業名：「コミュニケーション基礎講座」  
→なぜこの授業を行うことになったのか？
- モジュール科目の一つ  
→モジュールとは？

# 授業の紹介

## ・ モジュール科目の一つ



# 授業の紹介



# 授業の紹介

- カテゴリー: 変容する環境とリテラシー  
6つのテーマ
  - 微生物と人間社会
  - 教育の基礎
  - 環境をめぐる諸問題
  - 暮らしに生かす情報技術
  - 国際社会を理解するための多様な視点
  - コミュニケーション基礎講座

# 授業の紹介

- テーマ:コミュニケーション基礎講座  
3つの科目
  - 人間関係の社会学
  - メディア・コミュニケーション基礎
  - コミュニケーション基礎実践

# 授業の紹介

全学モジュールの 目標および授業編 成の視点との対応	汎用的技能・態度									知識・理解			※授業編成の視点			
	学ぶ力		考える力	関わる力	表現する力		(基盤力)			⑩	⑪	⑫	A	B	C	D
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	A	B	C	D
	自主的探究	自己成長志向	批判的思考	相互啓発志向	自己表現	行動力	社会貢献意欲	日本語力	英語力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	人文科学の内容 を取り扱う	社会科学の内容 を取り扱う	現代的な話題を 取り入れる	アクティブ・ラー ニングの活用
人間関係の社会学	○	○	◎	◎	◎	○		◎		○		○	◎	○	◎	◎
メディア・コミュニケーション基礎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○		○	○	○	◎	◎	◎	◎
コミュニケーション基礎実践	◎	◎	◎	◎	◎			◎		○			◎		○	◎
◎(特に重視)の数	2	2	3	3	2	0	1	2	0	0	0	0	3	1	2	3
○(重視)の数	1	1	0	0	1	2	0	1	0	3	1	2	0	1	1	0

# 授業のねらい

- 大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成を目指す
- 「読み」、「書き」、プレゼンテーションおよびディスカッションの基礎的な技能を高め、ソーシャルメディアの可能性や情報化社会が及ぼす影響について理解することにより、大学や社会で求められるコミュニケーション能力を全体的に高めていくことを目指す

# この講義の目的

- 社会では: 答えのない場面で答えを見つけ出す場面が多い  
そのため
- 大学で学ばなくてはいけないこと:
  - ① 答えを導くために問題を理解・判断する
  - ② 試行錯誤しながら問題に取り組む・立ち向かう
  - ③ 自分の意見を他者に伝える(理解しやすいように明確に!)
  - ④ 異なる意見を持つ他者と関係を構築し、適切(できれば最適)な答えを導き出す  
(場面で適切なコミュニケーション能力が必要!)

➤ 大学や社会で求められるコミュニケーション能力の向上を目指す

# この講義の目的

- 大学や社会で求められるコミュニケーション能力(の一部)として本講義で取り扱うもの
  - 読み書き
  - プレゼンテーション・ディスカッションの基礎
  - メディアリテラシー
  - 論理的思考
- これらの能力の根底に必要なものは何だと思えますか？
  - 自分自身のモニタリング・スキル！
  - それを身に着けるために適切な自己評価および自分自身で課題の意味を見つけることが大切！

⇒ ということで、考え方のスキルを身に付ける必要がある

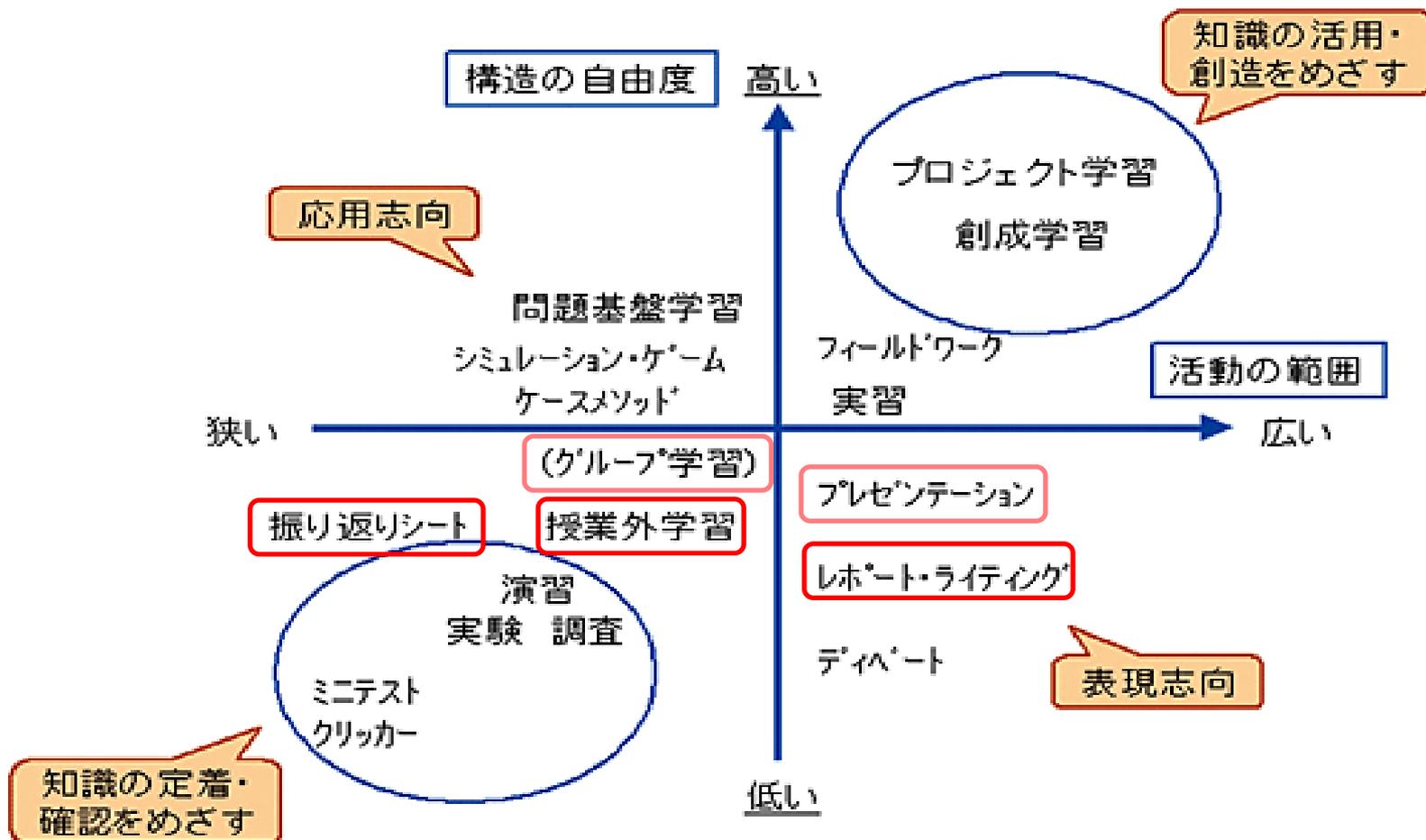
# 講義の到達目標

- 与えられた情報の要点を理解し、要約することができる
- 調べたいテーマについて適切な方法で資料検索・調査ができる
- 人の発表や意見を聞いたうえで、自分の意見をまとめ、述べられる
- 建設的かつ創造的に議論ができる
- ものの見方、考え方には多様性があることを理解する
- 自分自身で学習の習得状況を確認・分析・評価することができる

# 授業の進行

- 目標を到達するために必要な理論・スキルの説明と演習を行う
  - ① コミュニケーションに必要な理論・スキルを学ぶ
  - ② 学んだ理論・スキルについてのワーク, またはグループワークおよび発表を行う
  - ③ 授業外の時間に, 授業の内容についてのレポートを作成し提出する

# 本授業のアクティブ・ラーニングとは



出典: [http://www.juce.jp/LINK/journal/1403/02\\_01.html](http://www.juce.jp/LINK/journal/1403/02_01.html)

# 授業内容(全8回×2)

## 第1回(9月28日)

1. 趣旨説明
2. 自己紹介文を書く  
～ライティングの基礎を学ぶ

## 第2回(10月5日)

3. 論理的な表現とは
4. レポートの書き方を学ぶ

## 第3回(10月19日)

5. 参考文献の書き方・引用法(1)
6. 参考文献の書き方・引用法(2)

## 第4回(10月26日)

7. 思考力について学ぶ(1)
8. 思考力について学ぶ(2)

## 第5回(11月5日)

9. 情報セキュリティについて
10. ソーシャルネットワーク  
サービスについて

## 第6回(11月9日)

11. 思考力について学ぶ(3)
12. 思考力について学ぶ(4)

## 第7回(11月16日)

13. コミュニケーションスキルに  
ついて学ぶ
14. ディスカッション・  
プレゼンテーションの基本

## 第8回(11月30日)

15. まとめと振り返り

# 授業する際に意識したこと

- 毎回の授業の流れを最初に「はじめに」で示す
- なるべく客観的に考えることの大切さが分かるような内容にする
- ハンドアウトにはわざと全てのスライドを載せない

何のために授業を行っているのか、学生自身に考えさせる。受け身で授業を受けさせない。

# 「はじめに」の例

## はじめに

- 言いたいことが伝わらないと意味がない！
- 論理的に伝えると伝わりやすいし、誤解を生みにくい！
- この授業では、この3つを目標とします  
「論理的に考えるって何だろう？」  
「論理的に考えることって重要なんだ」  
「実際に論理的に考えてみる」

2015/10/5

2015コミュニケーション基礎実践

2

## はじめに

- 第3回の講義を覚えていますか？
  - 自分の意見を主張するときは、その根拠もしっかり述べること
  - 根拠は事実であること
- 今回は、相手に伝えるために必要なことについて考える作業を行います
  - 分かりやすい文章とは？
    - しっかりした主張と根拠に基づく論理的な文章を書けるようにする

2015/10/26

2015コミュニケーション基礎実践

2

# 人に伝えるには

- レポートの目的
  - 検証可能な客観的な事実を根拠にして、自分の意見である主張を行い、読み手を説得すること
    - 気持ちの表明ではない！
    - 資料で調べたことや集めたデータの切り貼りでもない！
  - 同じ資料やデータでもその結果の書き方(集めた情報の処理の仕方)は人によって異なる

2015/10/26

2015コミュニケーション基礎実践

12

## 考えるときに注意すること

- 先入観や型にはまったものの見方をする
  - あそこを歩いているのは西洋人のようである
  - したがって、英語で道を聞かれるかもしれない
- 隠れた根拠があることに気付かないまま、二つの出来事を根拠と結論として結びつけてしまう
  - 私の兄は、天気がいいと機嫌が良い
    - 天気がいい(根拠), したがって機嫌が良い(結論)

2015/11/9

2015コミュニケーション基礎実践

4

# 「レポート課題」の例

## 本日の課題

- 今日の2つのワークのうち、自分の書きやすい方を文章化して提出。600字以上。
- もちろん、理由に対しての客観的な根拠を示すこと。その際、どこから引用したのかを、**山田(2014)**では、といった形式で書き、文章の最後に引用文献として出典を載せること。
- 引用文献の書き方は、以前授業でやった通り。
- **締め切り: 10月31日(土) 23:59**

2015/10/26

2015コミュニケーション基礎実践

11

## 最終課題

最近の大学生は、昔と比べて勉強しないと言われています。はたして本当にそうでしょうか。もしもそうなら、なぜ勉強しなくなったのでしょうか。

その理由を書き、そのような勉強しない大学生が勉強するにはどうしたら良いのか、何か提案してください。

- 第6回課題のルーブリックを用いて採点します。
  - 1200字以上書くこと。上限はありません。
  - 文章の書き方はこの授業で学んだように書いて下さい。
- ✗切は、12月12日(土) 23:59です。**

2014/12/13

2014コミュニケーション基礎実践

12

# 学生のコメント

- 論理的思考を意識すると、1つ1つの情報のつながりが正しいかどうか、情報を正しい解釈で見ることができるようになると思った。
- 論理的に思考するためには、「事実」と「意見」の区別が大切なのだと知った。
- コミュニケーションは相手を思いやる気持ちが必要なのだと分かった。
- 日ごろ「何となく」で好き嫌いなどを決めることが多いので、根拠を述べて説明することが難しいと感じた。しかし、さまざまな意見を聞くと、理由のつけ方や説明の仕方、批判的な考え方などがたくさんあると気づいた。日常的に根拠を考えるクセをつけていきたいと思った。
- 論理的な思考をする時に注意すべきことは、自分はバイアスや型にはまった見方をしているということ、また結果に結びつかない根拠を当てはめてしまう可能性があること。この自分を知っておくことが大切だと思った。

# 改善点と課題

- 自分の相対的な立ち位置が分かるようなことを仕掛ける(ピア評価)
- 明らかに自分が成長したと分かるようなツールを考える(毎回の授業の到達目標を最初に掲げ、最後のリフレクションでそれを確認させるなど)
- 全体のフローを見えるようにする(全体のフローが見えないために、体系的に捉えていない学生がいる)
- モチベーションが低いために、ついて来られない学生のフォローをどうするか



ご清聴ありがとうございました